

## NPOエコデザイン推進機構(<http://www.ecodenet.com>)公開講演会

### 「物質循環から付加価値循環への展開(#3)」

付加価値循環の仕組みを社会に実装するには、経済的な持続性の確保と部品寿命の延長や互換性、各国工業インフラの相互活用など、世界的な標準化の仕組みを確立する事は避けて通れません。今回は、これらの分野で積極的に発信されている異色のお二人を講師にお招きして、現在世界で起こっている資本主義の転換過程と、国際標準化の現場から、私たち日本人が世界の中で成すべき課題を考えたいと思います。

ふるって、ご参加下さい。

1. 日時:12月18日(木)午後3時～ (受付開始2時40分より)

2. 場所:東京大学工学部 11号館 1階講堂

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_12\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_12_j.html)

3. 講演:15:00～17:30(含む講師紹介、質疑)

(1)15:00～16:15「すべての経済はバブルに通じる」

慶應義塾大学大学院 小幡績(おばた・せき)准教授

(概要)現代の資本主義経済は、金融資本主義経済であった。それは1870年の帝国主義の登場とともに深化してきたが、21世紀、それは極まった。すなわち、経済において、実物経済という主役を脇役に引き摺り下ろし、金融資本の増殖、それが経済および社会の第一の目標となった経済社会を作ってしまった。それは主客転倒の誤謬であり、その否定、修正、実物経済が基本である経済への原点回帰、それが現在起こっていることである。現在の資本主義の根本的な転換過程を議論する。

(講演者プロフィール)

慶應義塾大学慶応ビジネススクール准教授。東京大学経済学部卒。大学卒業後、大蔵省(現・財務省)に入省、1999年退職。2000年、国際通貨基金(IMF)インターン。2001年、ハーバード大学経済学博士号を取得。一橋大学経済研究所専任講師を経て、2003年から現職。個人投資家として投資し続ける行動派経済学者でもあり、株主総会やメディアでも積極的に発言する。専門は行動ファイナンスとコーポレートガバナンス(企業統治)。著書に『すべての経済はバブルに通じる』、『ネット株の心理学』、『株式投資最強のサバイバル理論』(共著)など。

(2)16:15～17:30「企業戦略と国際標準化 — その現実と理想」

(財)日本規格協会、国際標準化支援センター 原田節雄主幹

(概要)相互理解という建前の国際標準化の前に沈黙する技術大国日本。独り勝ちしたいという本音の国際標準化を巧みに推進する政治大国欧米。万人の幸福は自分の幸福という理想。他人の不幸は自分の幸福という現実。それが国際標準化の世界の一面だ。国際標準化の理想と現実のギャップを知らずして、行政、業界、学会、企業のエゴを超えた相互理解の世界は築けない。

(講演者プロフィール)

1947年、山口県に生まれる。電気通信大学中退。

1970年、ソニーサービス株式会社に入社し、大阪、滋賀、和歌山、高崎、東京で勤務。

1977年、ソニー株式会社へ出向し、ベルギー、ドイツで勤務。  
1979年、ソニーサービス株式会社にて、石川、京都、東京で勤務。  
1986年、ソニー株式会社へ転籍し、人事本部、マーチャンダイジング戦略本部、法務・渉外グループにて勤務。  
1991年から国際標準化業務を担当。  
・テクニカルサポートセンター国際標準化担当部長、コーポレート・テクノロジー部門技術渉外室統括室長、スタンダード&テクノロジーアライアンス戦略グループダイレクターなどを務める。  
2005年から現在まで、IEC(国際電気標準会議)SMB(標準管理評議会)日本代表委員。  
2007年から財団法人日本規格協会国際標準化支援センターに勤務し現在に至る。  
2004年、工業標準化事業への功績で経済産業大臣表彰を受ける。  
2008年、工業標準化事業への功績で内閣総理大臣表彰を受ける。

著書:「ユビキタス時代に勝つソニー型ビジネスモデル」(日刊工業新聞社)  
「目からウロコの英語とタイプ」の常識」(星雲社)  
「世界市場を制覇する国際標準化戦略」(東京電機大学出版局)

(3)17:30~17:50「総合質疑」

4. 交流会:18:00~19:30 山上会館(予定)

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_00\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html)

5. 参加費

NPOエコデザイン推進機構会員無料、学生無料  
一般 3千円(特別入会を受け付けます(年会費5千円、入会金無し))  
交流会参加費:2,000円、学生無料

PS: この講演シリーズは、循環型社会の新しい枠組みとして提言した  
「物質循環から付加価値循環へ」を社会に実装する活動の一環です。

=====

参加申し込み:

下記を記入の上、[forum.seminar@ecodenet.com](mailto:forum.seminar@ecodenet.com) まで、E-Mailで。

ご氏名:  
ご所属:  
会員、非会員(当日入会希望の有、無)  
交流会参加希望(有、無)

=====